

FXTF MT4 のレバレッジ

お客様（個人口座）がFXTF MT4 でご利用いただけるレバレッジは 25 倍のみとなっております。

レバレッジとは

レバレッジとは、そもそも「梃子」を意味し、外国為替証拠金取引においては、お客様がお取引のために利用した証拠金に対して、保有ポジションが何倍に相当するかを表すものです。必要証拠金が 4 万円で想定元本が 100 万円のポジションを保有している場合、レバレッジは 25 倍ということになります。レバレッジは高ければ高いほど、証拠金の金額に対して大きい想定元本の外国為替取引を行っていることになります。

通常、レバレッジと言った場合、お取引いただく通貨ペア最小取引単位のポジションが、当該通貨ペアの取引証拠金の何倍に相当するかを表しますが、お客様の全ての保有ポジション総額が純資産の何倍に相当するかを表すものを当社では「全体レバレッジ」と呼んで区別しています。また、いわゆる「証拠金率」は「レバレッジ」の逆数であり、レバレッジが 25 倍ならば証拠金率は 4%、レバレッジが 50 倍ならば証拠金率は 2% と言い換えることができます。

通貨ペア 1 ロットの取引を行うために必要な証拠金を『取引証拠金』といいますが、当社では新規建て玉時のレバレッジを 25 倍としていますので、『取引証拠金』は、その時に実勢レート水準と通貨ペアにより異なります。

取引証拠金について

お取引いただく通貨ペア毎に 4%の証拠金（レバレッジ 25 倍）が必要 となります。新規建て玉時に預託して頂いている証拠金が必要額に満たない場合は、お取引注文はお受けすることができません。実際、お取引いただく際に必要な証拠金の額については、新規建て玉時のリアルタイムの取引レートで計算されます。FXTF MT4 の取引ルールでは改正内閣府令に対応して必要な必要証拠金を、取引時価総額の 4%として計算しますが、計算の際に使用する換算レートは、①日本円を含む通貨ペアの場合と②日本円を含まない通貨ペアの場合で各々異なります。

具体的には次の通りとなります。

①日本円を含む通貨ペアの新規建て玉時の場合

【EURJPY の例】

次のポジションを新規に建てようとする場合、必要な証拠金は 44,739 円 となります。

通貨ペア	EURJPY
取引数量	10,000 通貨単位

売り買いの別	買い建て
リアルタイムの取引レート	EURJPY 111.825 ・ 111.847

FXTF MT4 の取引ルールでは改正内閣府令に対応して必要証拠金を、取引時価総額の 4%として計算します。

《必要証拠金計算式》

取引時価総額はリアルタイムの取引レートで算出いたします。買い建ての場合は買値(売り建ての場合は売値)で算出いたします。

$$111.847 \text{ 円/ユーロ} \times \text{取引数量 } 10,000 \text{ 通貨単位} = 1,118,470 \text{ 円} \quad (\text{取引時価総額})$$

$$\text{取引時価総額 } 1,118,470 \text{ 円} \times \text{必要証拠金率 } 4\% = 44,739 \text{ 円} \quad (\text{小数点以下四捨五入})$$

実際に新規にポジションを建てる瞬間には、買値と売値との差(スプレッド)の分だけ評価損益がマイナスとなります。このため、上記の必要証拠金ぎりぎりの純資産しかない場合は、注文執行と同時に証拠金維持率が100%を下回ることとなりますのでご注意ください。

②日本円を含まない通貨ペアの新規建玉の場合

【AUDUSD の例】

次のポジションを新規に建てようとする場合、必要な証拠金は 33,900 円 となります。

通貨ペア	AUDUSD
取引数量	10,000 通貨単位
売り買いの別	売り建て
リアルタイムの取引レート	AUDUSD 1.07319 ・ 1.07339
リアルタイムの対円レート	AUDJPY 84.734 ・ 84.764
リアルタイムの対円レート	USDJPY 78.954 ・ 78.969

《必要証拠金計算式》

日本円を含まない外貨どうしの通貨ペアの取引時価総額は、買い建て売り建てを問わずリアルタイムの対円レートの中央値で円換算いたします。

●●●/△△△の取引は●●●/JPY の中央値で取引時価総額を算出いたします。上述の例の場合、AUD/USD の取引なので AUD/JPY の中央値で取引時価総額を算出しております。

$$\begin{aligned} & \text{リアルタイム AUDJPY 中央値：} (84.734 + 84.764) \div 2 = 84.749 \\ & 84.749 \text{ 円/豪ドル} \times \text{取引数量 } 10,000 \text{ 通貨単位} = 847,490 \text{ 円 (円換算での取引時価総額)} \\ & \text{取引時価総額 } 847,490 \text{ 円} \times \text{必要証拠金率 } 4\% = 33,900 \text{ 円 (小数点以下四捨五入)} \end{aligned}$$

上記の必要証拠金自体は、取引通貨ペアが AUDUSD の場合でも AUDNZD の場合でも、ロット数が同じなら同一です。ただし例 1 と同様、実際に新規にポジションを建てる瞬間には、買値と売値との差（スプレッド）の分だけ評価損益がマイナスとなりますので、上記の必要証拠金ぎりぎりの純資産しかない場合は、注文執行と同時に証拠金維持率が 100% を下回ることとなりますのでご注意ください。

レバレッジについて

外国為替証拠金取引でのレバレッジには、証拠金の固定金額を選択する「証拠金固定タイプ」とレバレッジの倍数を予め設定した「レバレッジ固定タイプ」の 2 種類あります。FXTF MT4 では、「証拠金固定タイプ」を採用しておりますが、2011 年 8 月から施行される証拠金規制を鑑み、証拠金判定時刻におけるリアルタイムの為替レートで必要証拠金の再計算を行います。

●レバレッジ比率の算出方法

例1) 米ドル/円（為替レートが 82 円、買いポジションを 10,000 通貨保有、運用元本を 4 万円と想定した場合）

$$\text{USD}10,000 \text{ (取引金額)} \times @82 \text{ (為替レート)} \div 40,000 \text{ 円 (維持証拠金)} = 20.5 \rightarrow$$

レバレッジは 20.5 倍

↓

取引後、米ドル/円の為替レートが 83 円まで円安に変動したとすると…（評価益 10,000 円）

$$\text{USD}10,000 \text{ (取引金額)} \times @83 \text{ (為替レート)} \div 50,000 \text{ 円 (維持証拠金)} = 16.6 \rightarrow$$

レバレッジは 16.6 倍

↓

その後、証拠金判定時刻時点の米ドル/円の為替レートが 81 円だった場合…（評価損 10,000 円）

$$\text{USD}10,000 \text{ (取引金額)} \times @81 \text{ (為替レート)} \div 30,000 \text{ 円 (維持証拠金)} = 27.0 \rightarrow$$

レバレッジは 27.0 倍

※取引当初に 20.5 倍だったレバレッジが、再計算が行われた結果 27.0 倍となったためロスカットルールによりロスカットされることとなります。